

2023年3月4日

仲間づくり実践セミナー

第二部 職域を越えた仲間づくりについて学ぶ

自治労 総合組織局

セミナーの目的

- 単組における非正規労働者の加入のすすめ方を学ぶ
- 具体的な組織化の手法、課題の克服方法の学習
- セミナーで学んだことを生かして単組で組織拡大に取り組みの実践につなげる。

次 第

13 : 30	あいさつ セミナーの目的		青木 雄次 総合組織局長 比田井 修 強化拡大局長
13 : 40	講座 「仲間づくりの進め方」		佐藤 久美子 強化拡大局長 北川 啓子 組織拡大オルグ
14 : 05	参加者から取り組み報告	質疑応答	
14 : 35	グループワークの進め方の説明		比田井 修 強化拡大局長
14 : 40	グループワーク（ブレイクアウトルーム） テーマ①「違う職場へのアプローチ方法を考える」	テーマ②「組合加入を拒む人へのアプローチ方法を考える」	
15 : 30	グループワーク報告	テーマ①②について報告	
15 : 55	情報交換のすすめ方の説明		比田井 修 強化拡大局長
16 : 00	情報交換（ブレイクアウトルーム）	単組の仲間づくりの取り組みについて共有する	
16 : 25	まとめ		青木 雄次 総合組織局長
16 : 30	閉会		

仲間づくりの進め方

職域を越えた仲間づくり



会計年度任用職員全体の現状

◎ 80万人自治労回復をめざす「第5次組織強化・拡大推進計画」においても、非正規労働者の組織化を飛躍的に向上させることが求められている。

◎「第15回自治労組織基本調査(2021年6月30日)」によると、

会計年度任用職員の組合員は**25,378人(4.1%)**、2019年調査から1229人(4.6%)の減少となっています。

又、臨時・非常勤等職員は**34,963人(5.2%)**となっており、2019年調査と比べて1,499人減少し(4.1%減)2019年調査(5.6%)からさらに低下しています。



「数は力」～仲間づくりを進めよう

「勤勉手当」等が支給できる地方自治法改正をめざす
職場における「同一労働・同一賃金」の実現を！

当事者が「声」をあげることで、「数は力」を意識して
取り組むことが**処遇改善・雇用安定の第一歩！**



組合をひろげることの利点

	保育職場など一部の職種の組合	職種、職場を超えて組合がある
利点	<ul style="list-style-type: none">・職場の課題に絞って要求・交渉できる・組合員同士の交流がしやすい。	<ul style="list-style-type: none">・多数の職場の課題を把握することができる・会計年度任用職員全体にかかわる課題の改善に取り組みやすい・組合員が増えることで組合の交渉力がアップする・組合員が増えることで、組合役員も分担することができ一人ひとりの負担がへ
課題	<ul style="list-style-type: none">・組合のある職場の課題しか把握できない・会計年度任用職員全体の課題は一部の職場だけの組合では交渉が困難・組合員数が増えない・限られた組合員で役員を担わなくてはならない。	<ul style="list-style-type: none">・組合員同士の交流がしにくい。・職場ごとに課題をまとめる必要がある



組合を広げていくための流れ



第1ステップ 単組執行部、当事者の役員と意思統一

第2ステップ 広げていく対象職場の実態把握

第3ステップ 対象職場の役員、組合員(正規職員)への説明

第4ステップ オルグ計画をたてる 目標時期、スケジュール

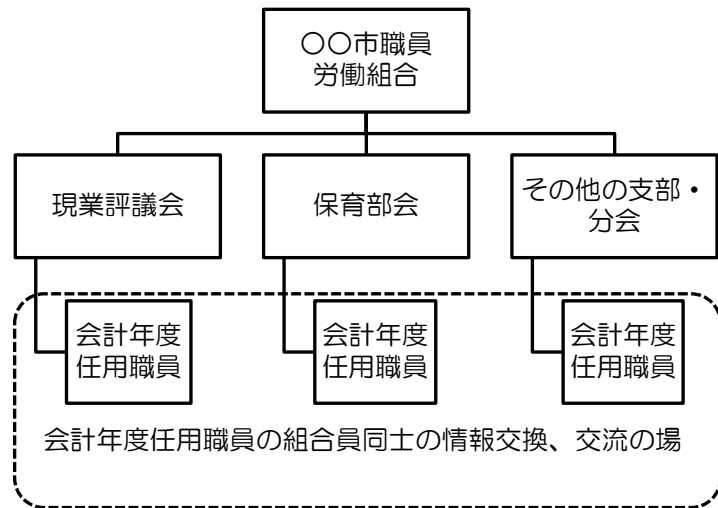
第5ステップ オルグ活動1 対象者の声を聴く 懇談会など

第6ステップ オルグ活動2 組合説明会、職場での個別オルグ

組合の形

① 自治体単組に加入する

※正規職員と同じ評議会、部会で活動



② 会計年度任用職員の協議会を結成する



③ 会計年度任用職員で組合を結成する



加入の取り組み 計画と事前準備

【すすめ方】

- ①対象者の確認（職場、人数 名前）
- ②目標を決める（いつまでに、何人）
- ③オルグ方法を決める（説明会、相談会など）
- ④声掛けの分担・スケジュール
- ⑤執行委員、協力してくれる組合員と声のかけ方や想定される質問について確認。

⑤説明会開催 個別の声掛けの実施

- ⑥説明会や声掛けの結果を執行委員で確認し、次の取り組みを決める。
- ⑤、⑥を繰り返す

分担表

未加入者	声をかけた人	反応
A保育園 ○○○○	A保育園執行委員 ○○○○○	
A保育園 ××××	A保育園執行委員 ○○○○○	
B保育園 ◆◆◆	B保育園 組合員 □□□□	
B保育園 □□□□	B保育園 組合員 △△△△	

想定される質問（例）	こたえ
組合費が負担になる	
組合の会議に出ることができない	
今の賃金で不満はない	
活動の内容及びよくわからない ・ ・ ・	

加入にむけてのオルグ

ニュースやチラシの作り方

同じ職場の人から手渡しで配布が効果的！

文字だけの長文はさける

イラストや写真をいれる

組合用語、略語は使わずわかりやすい言葉を使う

組合説明会などの案内には終了時間を必ず入れる

加入にむけてのオルグ

組合説明会

長い時間をとらない、多くの人に参加できるように
色々な場所（職場）や時間帯で数回開催する
話しやすい雰囲気を作る、スクールより口の字に座る、お茶やお菓子を用意
反対意見を言う人ほど（組合についてよく考えている）理解をしたあとは積極的に組合に協力してくれることもある
「話す」ではなく「聴く」を心がける、相手の意見を否定しない
組合用語、略語は使わずわかりやすい言葉を使う

加入届について

加入書はできるだけその場で記入

組合加入の呼びかけを行った場合に、よくあるのが「少し考えてから」という返答です。この返答には、その場を離れようとする気持ち、周りに相談しようという思い、本当によく考えてみたいなどいくつかの理由が考えられますが、どの場合でも一度その場を離れてしまうと、後日加入書が届くということは難しくなります。

後日返答をもらう場合は、一週間後など返事をもらう日を確認し、その時には必ず「どうする？一緒にやっていきましょう」と声をかけていきましょう。絶対にそのままにしないこと……。が大切です。

加入に至らなかった場合は

組合の説明をしても加入に至らなかった場合には、なぜ加入しないのが理由を考えてみましょう。理由によって、その後の対応に役員で話し合い決めます。

1回の説明であきらめるのではなく、少し時間をおいて再度説得を試みる、説明者を変えてみるなど、誘い方も工夫してみましょう。

職場での組合加入の呼びかけ 動画



事例紹介

グループワーク 50分間

テーマ①「**違う職場**へのアプローチ方法を考える」

まだ組織化されていない職場を訪問するきっかけや方法を考える。

テーマ②「**組合加入を拒む人**へのアプローチ方法を考える」

組合費などを理由に断れた時のアプローチ方法を考える。

■進め方

- 自己紹介（1分間） 進行役を決める。
 - テーマ①、②それぞれ単組での取り組み経験を踏まえてアイデアを出し合います。
 - 開始から50分経過した時点で自動で全体会に戻ります。
 - 何人かの方にグループワークで出たアイデアの報告をお願いします。
-

情報交換 終了時間16時25分

- グループワークとは異なるメンバーです。
 - 単組の「仲間づくりの取り組み」について、議論、共有します。
 - 自己紹介の後、順番に単組の取り組み（問題点、困っていること、成果があったことなど）について報告します。
 - 時間内に全員が報告できるように1人あたりの報告時間を決めてください。
 - 一通り報告が終わったら、それぞれの報告について質疑や意見交換をします。
 - 全体会での報告はありませんのでお気軽に意見交換してください。
 - 16時25分になると自動的に全体会に戻ります。
-